

## 3 学期を充実したものにしよう！

寒中の寒い日々が続いています。生徒たちは 3 学期の始業式から毎日休むことなく聖母の小さな学校に通い、基本的な生活のリズムも崩れることなく、様々な体験学習や教科学習に取り組むことができています。そのように個人の生活の自立が育つと、生活や学びに意欲的になります。小さくても好ましい変化を大切に、生徒や家族に意識させながら、意欲を育ててゆきたいと思います。更に子どもたちが社会を広げ、人々の中で共に学ぶ力を得るよう導いてゆきたいと思います。

このように、社会的自立を遂げるという事が不登校の教育の大切な事ですが、「この教育に対して原籍校で、学習評価をする」という京都府教育委員会からの研究委託を受けております。府教委、中丹教育局、舞鶴市教委、該当の校長先生方、総勢 10 名でたびたび会議をし、検討しております。その中で、

- ①不登校の子どもたちが原籍校ではないが、「聖母」で学んでいる姿を大きく認めよう。
- ②社会的自立に向かって「聖母」で真剣に学んでいる姿を参観するなど、連携を密にし、子どもの学びを支援しよう。
- ③学校と「聖母」がそれぞれの立場から不登校の子どもとその家族を理解し、適切な教育がなされるよう互いに協力しよう。
- ④「聖母」での学びを原籍校で評価しよう。

など、多くの意見が出ております。不登校の子どもの立場に立って、励みになるような評価が原籍校でなされるのではないかと、期待しております。このことはとりもなおさず、不登校の子どもたちの自己肯定感を育み、社会的自立を励ますものになるでしょう。いずれにしても、聖母の小さな学校につながる生徒たちが、しっかりと自分の不登校を通して自己を見つめ、家族と共に課題を認識し、原籍校や聖母の小さな学校と一緒にって社会的自立という成長を遂げてゆくようにと願っております。

今月もよろしく願いいたします。

尚、保護者はたびたび面接をとり、子どもへの理解を深めて下さるようお願いいたします。

### <今月の主な行事>

4 日	特別授業「理科（岩見先生）」（於：加佐中学校）	
7 日	「数学（江宮先生）」	19 日 華道教室
8 日	こひつじの苑ボランティア	20 日 陶芸教室
14・15 日	修学旅行「奈良」	

